

真々田文恵（ままだ・ふみえ）先生



株式会社博報堂
出版・コンテンツビジネス局コンテンツビジネス推進部
キャスティングプロデューサー

株式会社博報堂キャスティング&エンタテインメント
ミュージックコンテンツ部
コンテンツプランナー

事務職から営業職に職種転換後、化粧品会社・テレビ局・人材派遣会社・情報通信会社・宝飾会社等を担当し、1993年よりビーインググループのレコード会社（ビーグラムレコーズ・ZAINレコーズ）を担当する。2000年よりキャスティング局に異動し、アーティスト及びタレントのキャスティング業務・音楽イベントの協賛業務の企画立案を担当する。CMソングのコーディネート業務及びCM楽曲の既存局のクリアランス業務を担当する。

「真々田」を知らない人間は音楽業界において潜りであるとまで言われる。

代表的な業務実績

<楽曲>

■リクルート：ゼクシィ（木村カエラ） ■ベネッセ：高校講座（YUI・ASIAN KUNG-FU GENERATION） ■山崎製パン：ランチパック（GReeeeN・lecca・Juliet） ■味の素：クノールカップスープ（Aqua Timez・PornoGraffiti） ■SHARP：au携帯（flumpool・安室奈美恵ほか） ■日産自動車：セレナ（いきものがかり） ■ハウス食品：シチュー（MISIA） ■カルピス：カスピスソーダ（aiko・NICO Touches the Walls）

<アーティスト出演&楽曲コーディネート>

■第一興商：ライブ DAM（矢沢永吉・BoA） ■味覚糖：e-ma のど飴（GACKT・少女時代） ■任天堂：ゲーム（青山テルマ） ■ロッテ：ブラックガム（AI）・爽（ももいろクローバーZ） ■ブルボン：菓子（w-inds・青山テルマ） ■花王：エッセンシャル（青山テルマ・佐々木希）・アジエンス（柴咲コウ）

<既存楽曲クリアランス>

■サントリー：プレミアムモルツ（Hey Jude） ■カネボウ：SUISAI（Oh,Pretty Woman） ■麒麟ビール：ラガー（乾杯）

《講義概要》

株式会社博報堂でキャスティングプロデューサーを務める真々田文恵氏が、『広告と音楽・時代はコラボです』と題して講義を行った。

今までの経歴の紹介とともに、キャスティングプロデューサーの業務についてを話した。アーティストのCM出演をコーディネートするだけではなく、出演が決まった後の契約業務や、顧客企業のアテンド・アドバイス等多岐に渡る。全てがうまくいくわけではなく、時にはトラブルも発生するため、問題解決のための信頼関係が重要となってくる。

真々田氏の仕事に対するモットーは明るく楽しく元気よきの「ATG理論」であり、仕事を遊びだと思ってやると、辛い時でも乗り越えられることがあると述べた。

続いて、受講生から事前に提出された質問について回答を行った。

まずは、広告業界で働くために必要なものとして、「体力」を挙げた。広告代理店の業務はいわば黒子である。クライアントと制作会社の間に立ち、提案・調整を行うため、強靱な体力と粘り強い気持ちが必要となる。

広告音楽の制作については①既存楽曲の使用②新曲タイアップ③CMソングとして音楽制作プロダクションが制作する場合を挙げた。キャスティングの際、気をつけていることとして、売りたい商品にマッチできること、信頼がおけること、都度の確認を怠らないこと、タレントの興味のある商品をできるだけ提案し、タレントがより気持ちよく臨めるよう配慮することを挙げた。今後やりたいこととして、数多く様々なジャンルとコラボしたいと語った。

最後に、仕事をしていると楽しいことばかりではない。山あり谷ありではあるが、楽しいことだけを思い出すようにしている。可能性は誰にでもある。失敗は成功の元であり、できないことは無いと受講生にメッセージを伝え、講義を終えた。

受講生は、真々田氏の明るさとパワーに大きな影響を受けた。仕事を遊びだと思ってやる、明るく・楽しく・元気よく仕事をする姿勢には、見習いたいという声も多く挙がった。

